



### 発表の流れ

1. 事業概要
2. 事例紹介
  - 1) 信夫山公園景観整備事業  
⇒ 展望台、眺望再生、案内板、遊歩道整備
  - 2) 土合館公園森林整備事業  
⇒ 間伐材、市民協働、散策路整備、樹名板
  - 3) 愛宕山公園森林環境整備事業  
⇒ 観光振興、歴史・自然環境学習
  - 4) 弁天山公園森林環境整備事業  
⇒ 除間伐、展望台、市民協働
3. まとめ

## 1. 事業概要

### (1) はじまり

- 市民に親しまれる森林公園を目指し、荒廃した里山からの脱却の必要性
- 散策路などの整備を図り、新たな地域魅力の発見(健康増進にも寄与)
- 地域住民の森林整備への関心の高まりによる里山整備の活発化

↓

「住民に愛される魅力ある里山再生」

### (2) 里山再生への取り組み

- ① 健全な森林保全のため、除間伐や下草刈の実施
- ② 除間伐材を利用したウッドチップによる散策路整備
- ③ 間伐材の利用による案内標識の設置
- ④ 住民参加型による懇談会の設置

### (3) 里山再生の経過

整備年次	公園名	内容	事業費
平成18年度～ 平成21年度	信夫山公園	・除間伐や下草刈 ・眺望再生 ・案内看板の設置	13,020千円 (市単独事業)
平成19年度	土合館公園	・除間伐や下草刈 ・除間伐材(ウッドチップ)を利用した遊歩道整備 ・眺望再生	2,021千円 (森林環境交付金)
平成20年度	愛宕山公園	・除間伐や下草刈 ・眺望再生	305千円 (森林環境交付金)
平成22年度	弁天山公園	・除間伐や下草刈 ・眺望再生	5,000千円 (森林環境交付金)

(4) 里山再生の公園(北部)



(4) 里山再生の公園(南部)



2. 事例紹介



① 信夫山公園景観整備事業



(1) 公園の概要

- 信夫山は、福島盆地のほぼ中央に位置し、“福島市のシンボル”として多くの市民に親しまれてきた里山(標高275m)で昔から信仰の山・聖地として大切にされてきた。  
福島盆地を一望できる「森林散策の場」、「自然環境教育の場」、「眺望のきく場所」としてなど多方面に利用されている。
- 所在地: 福島市太子堂1番外 地内
- 面積: 約30ha(信夫山全体1/6)
- 開設: 明治7年10月20日
- 種別: 総合公園  
駒山、青葉山、小金山、展望台、冒険の森



(福島盆地に浮かぶ信夫山)

(2) 現状と森林整備の必要性

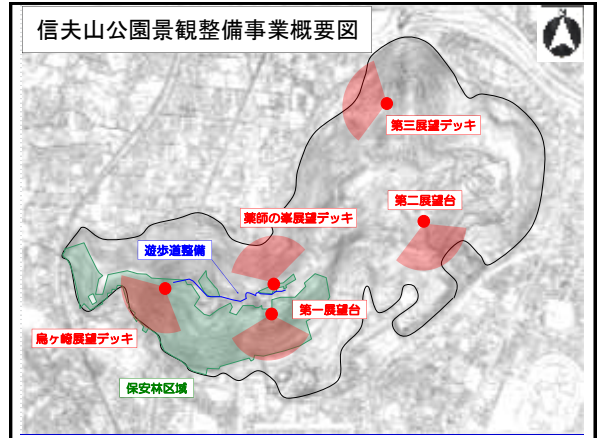
- 信夫山公園には、展望台(ビューポイント)が5箇所あるが、展望台周辺の樹木が大きくなり眺めを阻害していた。
- 遊具広場や散策路などが整備されているにも関わらず、案内・誘導する看板が不十分で分かりにくいものとなっていた。



地元住民や関係団体、福島県などの関係者で構成される検討委員会「信夫山公園景観整備懇談会」を設置し検討した。

### (3) 景観整備事業の概要

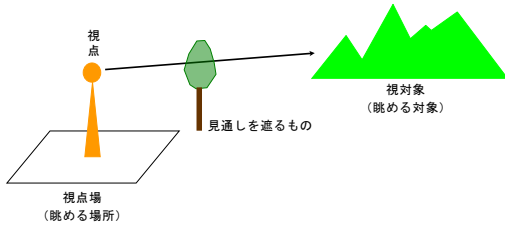
- ① 展望台からの見通しの確保(5箇所)
  - 第一展望台(標高195m)
  - 第二展望台(標高205m)
  - 第三展望台(標高170m)
  - 薬師の峯展望デッキ(標高225m)
  - 烏ヶ崎展望デッキ(標高260m)
- ② 展望台の移設(第一展望台)及び復旧(薬師の峯展望デッキ)
- ③ 展望台の整備(眺望説明板)
- ④ 展望台や遊具広場などに誘導する案内図、案内標識の設置
- ⑤ 遊歩道の整備



### 眺望再生整備の考え方

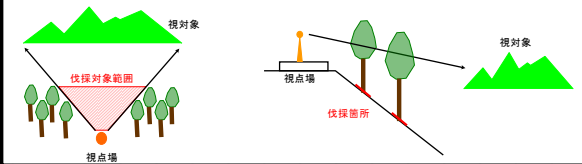
#### ◎ 景観の定義

視点(眺める位置)と視対象(眺める対象)との関係性であり、視点場(眺める場所)から眺める方向に見通しを遮るものがあれば景観は生じない



#### ◎ 整備内容

整備項目とその内容	方法及び留意点
見通しの確保 ・眺める場所から見たいものが見えるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採時期は繁茂期とし、委員との現地調査後行う</li> <li>・伐採する範囲は見せたいものが見えるだけの幅とする</li> <li>・伐採する際は見通しを確認しながら慎重に行う</li> <li>・見通しを遮る樹木を根元から斜面と平行に伐採する</li> </ul>









### (1)公園の概要

- 土合館公園は、緑豊かな丘陵地を整備した公園で、自然林が多く残されており、また園路には、地元住民の活動において約4,300株の『あじさい』が植えられており、例年、7月上旬には松川町商工会が主催する「あじさい小路」を開催するなど、松川地区の観光振興としても活用されています。
- 所在地: 福島市松川町字土合館7番外 地内
- 面積: 5.50ha
- 開設: 昭和53年12月12日
- 種別: 地区公園


## (2) 現状と森林整備の必要性

当公園は、昭和53年に都市公園として共用され、当時は幼木であった樹木が、約30年の年月を経て生長し、時代の背景とともに森林副産物としての利用等が減少した。それゆえ、里山としての森林は荒廃し、また間伐適齢期を迎え除間伐等の森林整備が必要となりました。



## (3) 市民協働の公園づくり

そのような現状の中、荒廃した里山の復活を願う声が、地元住民から沸きあがり、地元関係団体で構成する「土合館公園協働整備事業実行委員会」を立ち上げ、年に数回、下草刈りや清掃等の積極的な取り組みが実施されており、市民が主体となった「市民協働の公園づくり」が実現されました。



## 作業状況



## 作業状況



## (4) 事業採択

本事業は、地域一体となった取り組みが高く評価されたことにより、森林環境交付金事業の認定を受け、一般市民では困難である除間伐等の森林整備が実現しました。

整備前

整備後



## 作業状況





### 眺望再生

整備前

整備後



### 作業状況



### (5)間伐材の利用

事業認定後における森林整備の一環として、市民と協働で間伐材を利用した散策路を整備しました。

整備前

整備後



### 作業状況



### 作業状況

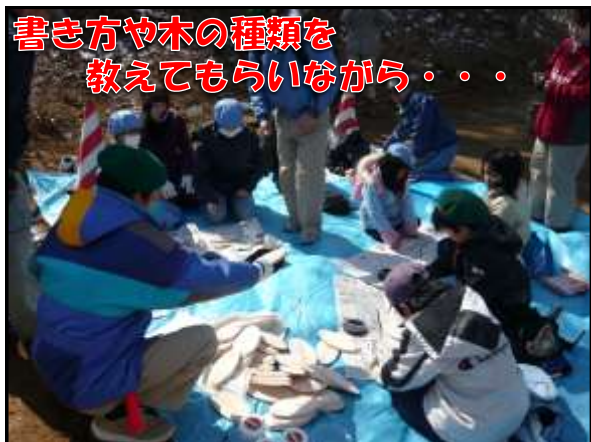


### 市民協働による散策路整備













### ③ 愛宕山公園森林環境整備事業

～ 愛宕山公園より飯坂温泉の街並み ～

### (1) 公園の概要

- 愛宕山公園は、東北屈指の飯坂温泉街に隣接した里山であるとともに、歴史に彩られた地域資源が豊富にあり、愛宕山の自然と歴史を満喫しながら散歩できる里山として親しまれている。
- 所在地：福島市飯坂町湯野字愛宕山外 地内
- 面積：約2.15ha
- 開設：明治41年10月1日
- 種別：風致公園

(観光案内板)

### (2) 現状と森林整備の必要性

- 愛宕山の森林が荒廃した状況にあることから、地域住民から森林環境整備(除間伐等)について要望が提出されるなど、里山に対する活動・関心が高まっている。森林の公益的機能を保全することで、散歩者等の安全確保と歴史・自然環境学習、健康増進が図れるよう森林整備を実施し、充実した森林空間を創出する。

↓

飯坂地区都市再生整備計画と森林整備のタイアップにより、飯坂温泉街の観光振興・地域活性化を図る。  
(森林整備の重要性、ボランティアの取組みPR)

### (3) 景観整備事業の概要

#### ① 荒廃した森林の除間伐

整備前



整備後



#### ② 眺望再生

整備前



整備後



### (4) 今後の展開

- ① 森林と住民の共生につながる継続的な地域ボランティア活動支援、森林づくり支援の実施  
(地域住民協働作業の発展)
- ② 自然環境学習・歴史学習の充実
- ③ 飯坂地区の観光振興・地域活性化  
(森林整備の重要性、ボランティアの取組みPR)



### ④ 弁天山公園森林環境整備事業



～ 弁天山公園から福島市街地の眺望 ～

### (1) 公園の概要

■ 弁天山公園は、福島盆地南部丘陵地の西突端に位置する里山であります。市街地からのランドマークとなると共に市街地と周辺の山々が織り成す眺望景観を一望できる里山であることから福島市の「緑のシンボル」として市民に親しまれているほか、当該地区は福島市埋蔵文化財包蔵地に指定され、歴史に彩られた地域資源と森林空間を満喫しながら散策できる里山でもあります。

- 所在 福島市渡利字弁天山 外
- 面積 約11.66ha
- 開設 大正15年4月1日
- 種別 風致公園



(福島盆地に浮かぶ弁天山)

### (2) 現状と森林整備の必要性

弁天山の森林が荒廃した状況にあることから、地域住民から荒廃した森林の除間伐及び眺望について意見が出されるなど森林に対する関心が高まっている。  
森林の公益的機能を保全することで、散歩者等の安全確保と歴史・自然環境学習、健康増進が図れるよう森林整備を実施し、充実した森林空間を創出する。



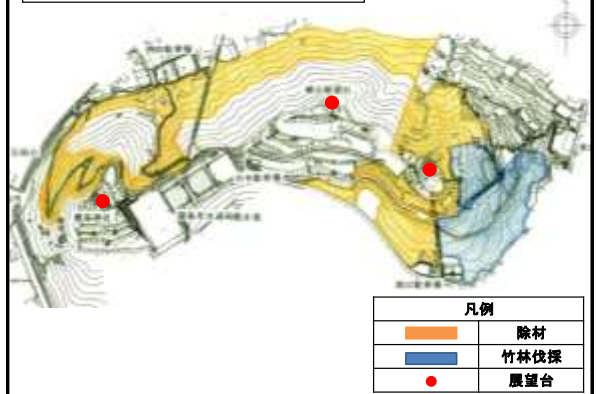


### (3) 景観整備事業の概要

- ① 森林の除間伐
  - 樹木の整理(除間伐・剪定)
  - 下草刈り
- ② 竹林の全伐及び間伐
- ③ 展望台3箇所の眺望確保
- ④ 住民協働
  - 弁天山公園森林整備懇談会との意見交換・合意形成



弁天山公園景観整備事業概要図



#### ① 森林の除間伐

整備前

整備後



#### ② 竹林の全伐及び間伐

整備前

整備後



#### ③ 展望台3箇所の眺望確保

整備前

整備後



#### ④ 住民協働

整備前

整備後



## (4) 除染の取り組み

【福島県・福島市 共催】  
ふくしまからはじめよう  
「共に取り組む環境回復プロジェクト」

～ 福島弁天山除染ボランティア事業結果概要 ～



## 作業状況(落葉除去)



## 作業状況(落葉収集)



## 作業状況(落葉運搬・集積)



## ○ボランティア事業の結果

1. 日時
  - 第1回 平成24年4月7日(土)
  - 第2回 平成24年4月14日(土)
2. 参加者の集計
  - 第1回 387名(全国253名 市民134名)
  - 第2回 480名(全国295名 市民185名)
3. 作業の概要
  - 第1回 作業面積 約13,000㎡(1.30ha) ゴミ袋(90L)3,500袋(約300㎡)
  - 第2回 作業面積 約32,500㎡(3.25ha) ゴミ袋(90L)2,500袋(約230㎡)
4. 除染の効果(1m高さ)
  - 第1回 除去前1.4～2.1μ Sv/h 除去後1.3～1.7μ Sv/h 低減率7～26%
  - 第2回 除去前1.5～2.1μ Sv/h 除去後1.4～2.0μ Sv/h 低減率3～17%
  - 全体 除去前1.4～2.1μ Sv/h 除去後1.3～2.0μ Sv/h 低減率3～26%

## (5) まとめ

### ■森林環境整備後の維持管理

森林環境(景観)整備後においては、見通しの確保を行うと見たいものが見えるようになるので、それ以前に比べて格段に眺めが良くなります。それで満足してしまいがちですが、その後の維持管理、特に展望台周りの刈り払いが重要です。関係者間で維持管理のルールや役割・手順を決めておけば良好な状態を保つことができます。



## (6) 今後の課題

- ①整備した森林や竹林の維持管理及び未整備地域の整備計画を適切な時期に実施する。
- ②森林を荒廃から守り、健全な状態で次世代に引継いでいけるように「市民参加による森林づくり」を行う。
- ③福島市の観光振興・地域活性化  
(花見山を訪ねた観光客の回遊性を図る)



## 3. ま と め



## 終わりに・・・

日本は、国土の7割弱を森林が占める森林国であります。なかなかその実感が湧きません。

その理由として、森林は豊かであるにもかかわらず、森林景観が豊かでないために森林の豊かさを十分に実感できないことがあるように思われます。

眺める場所の整備を主とした森林景観づくりの事業は、豊かな森林景観の提供につながるものと確信しております。

ご清聴ありがとうございました。

山を荒らして・・・

ゴメンね、  
ゴメンねえ～

